

---

# 蝶達の楽園

夢幻蓮樺

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

蝶達の楽園

### 【Nコード】

N8665A

### 【作者名】

夢幻蓮樺

### 【あらすじ】

銃剣士の少年・ヴァイル・A・クロスことヴァイルは、幼き頃から『異端の子』として日々を送っていた。ヴァイルはある日、『自分自身』を探す旅に出る。ヴァイルは旅の途中でいろんな仲間に出会う。果たしてヴァイルは、その答えを見つけられるのだろうか。

## あらすじ

銃剣士の少年・ヴァイル・A・クロスことヴァイルは、幼き頃から『異端の子』として日々を送っていた。ヴァイルはある日、『自分自身』を探す旅に出る。

ヴァイルは旅の途中でいろんな仲間に出会う。

果たしてヴァイルは、その答えを見つけられるのだけれうか…。

## 序章 十語り 十

いつも一人だったのを覚えている。

日々、皆に嫌われて。

僕は『異端の子』 - つまり『化け物』と言われていた。

ああ。過去形じゃなくて現在進行形か。

とりあえず、『化け物』として、日々を過ごしている。

別に、一人でいて、寂しいとか、悲しいとか、死にたいとか、思わなかった。

だって、平気だから。

『化け物』と言われて日々を過ごすのが、僕にとって、極普通の日常。

だから、平気。

でも。泣きたいと、思ったことが、一度だけある。

理由は、覚えていない。

でも、確かに、心の底から泣きたいと思ったのに - 泣けなかった。

そして、笑わなくなった。嬉しいって、感じなくなった。

幸福って、感じなくなった。

何もかも。

そう - 。

全て - 。

何も感じなくなった。

世間一般的には心を閉ざしているって、言われてるみたいだけど、でも。

僕は心を閉ざそうとしていない。

本当は笑いたい。

泣きたい。

幸福って言いたい。

なのに。

僕が近づくだけで、皆、逃げるんだ。

冷たい目で見えるんだ。

どの町に行っても、僕は『化け物』で、『生きてはいけない存在』。

さてと、僕の語りはここまで。

うんつとね。

僕が今いるのは『忘れ去られた大陸』にある、『ブルメシア』。

この『ブルメシア』で、僕は一人の少女に出会った。とっても明るくて、言いたいことは、はっきりと言う、優しい少女に。

この少女に出会い、僕は、徐々に心を開き、失った感情を取り戻していく。

そして…。

『自分自身』と、いう答えも…。

今から始まるのは、『人ならざる者達』のお話し。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8665a/>

---

蝶達の楽園

2010年10月8日13時38分発行